

広報 Public Information OBIHIRO おびひろ

令和2年
(2020年)
11月号 No.1158
November

発行：帯広市
編集：政策推進部広報秘書室広報広聴課
〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地
電話(0155) 24-4111
FAX(0155) 23-0151
<https://www.city.obihiro.hokkaido.jp/>

掲載情報は10月13日時点のものです。新型コロナウイルス感染症の影響などにより、掲載内容や行事などの日程が変更になる場合があります。



12月2日は、図書館のお誕生日

帯広市図書館は12月2日に、公立図書館として開館100周年を迎えます。100年前の帯広は、まだ「帯広町」で、人口は1万6000人余りと現在の10分の1程度でした。開館当初は、現在の中央公園周辺にありましたが、数度の移転を経て、平成18年に現在の図書館がある帯広駅前に移転しました。今では、十勝圏の拠点図書館として、多くの皆さんにご利用いただいています。

◆「^{たいてん}大典記念帯広図書館」として大正9年に誕生

帯広市図書館の前身である、町立大典記念帯広図書館は、私立の図書館でしたが、大正9年12月2日に建物と蔵書がそのまま帯広町に寄付されたことで、公立図書館としての一歩を踏み出しました。



100年間で変わった図書館

100年前の図書館は規模以外に、利用方法も今とは大きく異なっていました。利用者は読みたい本の閲覧券を職員に渡して、本を持ってきてもらい、退館時に返却する決まりで館外への持ち出しはできませんでした。

	1920年	2020年
蔵書数	約1000冊	約55万冊
年間来館者数	1922年 2541人	2019年度 約36万人

◆おめでとう100年、ありがとう100年

市民の皆さんに感謝の気持ちを込めて、図書館では「おめでとう100年、ありがとう100年」をキャッチフレーズに、子どもから大人まで楽しめる、さまざまなイベントを実施する予定です。

次頁では、図書館のおすすめの利用方法や、特別展示について紹介します。

新型コロナウイルス感染症対策で ここに異変、感じていませんか



感染への
不安

感染対策
継続の
負担感

活動抑制
による
孤独

急に気分が落ち込んだり、
物事に集中できないなど、
いつもと違うと感じるときには
ここに
負担がかかっています！

問い合わせ 健康推進課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9721）

ここを守るポイント

- 1 ウイルスに関する情報と距離を置く時間をつくきましょう
- 2 親しい人や安心できる人と交流を続けましょう
- 3 いつもの生活習慣やペースを保ちましょう

よりそいホットライン

☎0120・279・338

気持ちや悩みを聴いてほしいときに活用してください。
24時間、365日相談を受け付けています。

便利な図書館のサービスを紹介します！

図書館では、本の貸し出しだけでなく、皆さんがより使いやすいくなるサービスを提供しています。ご希望の本を選んで、探すお手伝いや、本以外にもさまざまな媒体を駆使して、皆さんの読書活動を調査研究をサポートします。

もっと気軽に使ってほしい！

図書館職員おすすめの

図書館の使い方

自分で選ばなくてもいいんです！

絵本バッグ

「子どもに絵本を読み聞かせたいけど、どの絵本を読めばいいのかわからない」「子どもの年齢にあった絵本はどれなんだろう」といった悩みはありませんか？

図書館では、司書が選書した絵本を、年齢やテーマに合わせてまとめた「絵本バッグ」を用意しています。その子に合った本がまとめられて借りられるので、絵本選びに迷ったときは、ぜひご利用ください。



児童コーナー担当 菊地さん

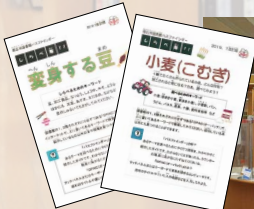
1階フロア総括 後藤さん

わからないことは何でも聞いて！ レファレンス カウンター

例えば、図書館で沖縄の新聞が読めることを知っていますか？図書館は、十勝の知の拠点として本以外にもさまざまな種類の資料を収集保存しています。

「調べたいことがあるけど、何を調べればいいのかわからない」といった場合は、2階の「レファレンス（資料相談）カウンター」に気軽に相談してください。調べものの相談を受け付けています。また、パスファインダー※や各種ブックリストも設置しているので、本を選ぶ際に活用ください。

※特定のテーマに関する文献や情報の探し方、調べ方をまとめたリスト。



パスファインダー

資料相談担当 土屋さん

実は、話題作揃ってます！

移動図書館バス ナウマン号

皆さんは図書館でしか本が借りられないと思っていませんか？

実は毎月、移動図書館バス「ナウマン号」が市内を巡回し、本の貸し出しを行っています。本館とは別に、新作や人気の本を取り揃えているので、ぜひご利用ください。

巡回スケジュールは、図書館ホームページか図書館設置のチラシで確認してください。



ナウマン号担当 豊田さん



忘れられない図書館の思い出

あなたにとって図書館とは？

図書館司書への感謝

中学生の時に読んだ本をどうしても読みたくなったのですが、本の題名がわからず、唯一覚えていたのは、男女が橋の穴を使っている、文通をしていたというワンシーンのみ。難しいだろうと思いながらレファレンスカウンターに相談したところ、数日で「美しい橋」という本です」と電話をいただき、懐かしい物語に再び出会うことができ、嬉しかったです。とても驚き、嬉しかったことを今でも鮮明に覚えています。

岩城 由榮さん



癒しの空間

池田 千鶴子さん

学生時代は受験勉強で、子どもができてからは家族で図書館を利用してきました。子育て中は、時間が無い時でもサッと借りられる絵本バッグや、Aコーナーで子どもにビデオを見せながら休憩するなど、図書館にはとても助けられました。



これからも 使いやすい図書館に 使いたいです。

日頃より図書館をご利用いただき、ありがとうございます。着任当初は、乳幼児から高齢者までという利用者の幅広さに驚かされました。図書館には、利用者の数だけ、利用方法や過ごし方があると思います。時代の変化を捉えながら、これからも、誰もが使いやすい図書館を目指していきます。

帯広市図書館長 前原匡宏



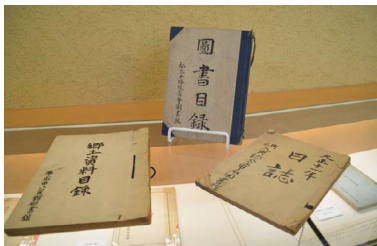
これを逃すともう見られない！

「百年に一度の秘蔵展」開催

百年の歴史を持つ帯広市図書館には、普段は公開していない貴重な資料があります。

例えば、所蔵する最も古い資料の中には、1754年に発行された「御成敗式目」や1819年に発行された「保元平治物語」があります。歴史の授業などで聞き覚えがある人もいるかもしれませんが、どちらも江戸時代の書物です。また、開館当初からの図書館の日誌も保管しており、記録からは、当時の図書館や十勝・帯広の様子が分かります。例えば、昭和27年3月4日の日誌には「十勝沖地震」の様子が記述されています。

開館当初の図書館日誌



→百年前の図書館で使われていた看板

◆百年に一度の秘蔵展
開催期間 11月19日(木)～12月16日(水)
会場 図書館1階展示コーナー